

芽高新聞

再刊327号
北海道芽室高等学校
新聞局
河西郡芽室町東めむろ
1条北1丁目6
発行責任者
奥山 惟碧

北海道コロナ
感染拡大

今更なることは密回避

札幌在住芽高OG「地下鉄はいつも通り満席」

新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが道内は3に、札幌は4になった。今回はその状況に対し、様々な人に取材した。

☆楽しい感染対策☆



※ このように距離を取りましょう

＋上左下右A ソーシャルディスタンス

小島大輝さん(1C)

は「感染はいつ収まるのか不安」、吉澤早絵さん(3C)は「外出時に消毒液を持ち歩き、人の多い場所に取材した」。



前を向いて飲食を取る生徒

い場所を避けている。受験については「面接がオンラインになってほしくない」と語る。

芽高でのコロナ対策について伊藤千香子先生は「寒気が換気が大事。あと昼食中の会話を慎み、会話はマスク着用」と念を押す。「登下校中もマスクを」と呼びかけた。続いて道内で最も警戒レベルが高い札幌に住む芽高OGの声を集めた。

札幌国際大学1年の

内定者
インタビュー

コロナ禍で激戦を制す



3年C組 木村美香さん



3年B組 阿部玲菜さん

↑「自信を持つことが大事」と語る阿部さん(3B)

木村美香さん(3C)は帯広信用金庫に内定が決まった。志望理由を「地元企業に就職したかったから」と語る。就職に向けて頑張ったことは「面接のときに笑顔でいること。表情が硬くなるのが課題だったので、先生方に面接練習を頼み、明るく受け答えできるようにした」と語る。働くことへの意気込みを「早くお客様に接客できるようにすることが楽しみ。働いていても学ばず姿勢を忘れないようにしたい」と語った。

Vol.42
別所雪月



1年C組の別所雪月です。3月15日生まれ、魚座です。血液型はAB型です。部活はバレー部です。好きな食べ物は鮭のおにぎりです。カラオケ

パン販売にもコロナの影響

「人気パン紹介つき」

皆さんは購買の販売方法の変化に気付いただろうか。変化の理由とお勧めパンを紹介する。



購買では、新型コロナウイルス対策で、その場で袋に入れる方式から個包装に変わった。ただし、袋に封をするとうねりパンの風味が落ちるため、袋は閉じてはいないそう。なお、人気のパンはメロンパン、ベーコンエビ、きなこフランスだ。(山口)

コロナ禍の就職状況



今年の就職状況を就職担当の下間隆雄先生は、

「今年求人が減った職種は観光業、飲食業、販売、サービス業。昨年と比べ、この時期の内定決定者は少ない。なんと第2陣で合格させたい」と語る。なお、内定者を分析すると、

編集後記

近頃、寒い日が続いていますが、寒さ対策などをしていただろうか。ちなみに新聞局室はとっても寒い。だが私は特に対策はしていない。局員Yはマフラーを巻くという。寒さ対策をしているのだが、私は室内でマフラーはちよつとおかしいので

昨ぶバイ95

皆さんは、「知らんけど」という言葉を知っているだろうか。話の最後にこの「知らんけど」を付けるのが今までの責任を全て帳消しにしてくれる魔法の言葉なのだ。使い方の例を挙げる。

「今日の天気何だっけ」「晴れたと思うよ。知らんけど」

これで、仮に天気が外れだとしても「知らんけど」と言っているのだから、責任を負わなくて済むということになる。そのため大変便利だ。

皆さんも、「知らんけど」を文末に付けて話してはどうだろうか。それにより何か問題が起こっても作者は知らんけど。(長谷川)

はないかと思っている。室内でマフラーは普通なのだろうか。(長尾)

局長 奥山 惟碧(2D)
副局長 長尾 紗和(1B)
松井陽花莉(1A)
奥村 愛可(1C)
木村 空(1C)
佐藤 力也(1C)
山口 和真(1D)
石森由香利(横濱 優子)